

市民ワークショップ実施報告

1 市民ワークショップの概要

(1) 位置付けと目的

「府中基地跡地留保地利用計画策定に向けたワークショップ（以下、「市民ワークショップ」という）」は、留保地に求められる機能に関し、広く市民の意見を頂くことを目的として実施した。市民ワークショップで頂いた意見は、素案作成時に行った市政世論調査の結果等と合わせて「市民意見」とし、検討協議会で検討を進める上での参考として提示するものである。

市民ワークショップの位置付けを図1に示す。

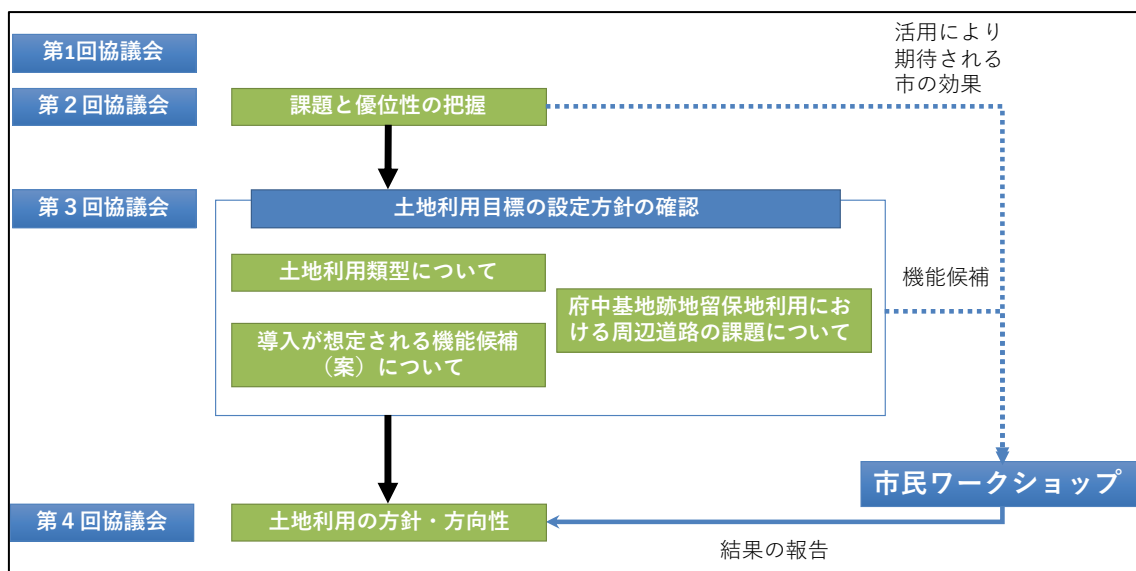


図1 市民ワークショップの位置付け

(2) 実施日時及び参加者数

市民ワークショップの実施日時、場所、参加者数については、表1に示すとおりである。

表1 市民ワークショップの実施日時、場所、参加者数

実施日時	場所	参加者数
平成30年3月17日（土） 19:00-21:00	府中市民活動センタープラッツ 第一会議室	17名
平成30年3月18日（日） 14:00-16:00	府中市生涯学習センター 研修室2	24名

資料 4 - 3

(3) 市民ワークショップの進め方

市民ワークショップは、「府中市の現状と課題」に関する参加者の自由な意見を抽出し、共通性のある意見を分類する作業を通じて、参加者の認識の共有を図った。その上で、分類した意見のグループごとに、「留保地に求められる機能」をテーマに意見交換を行った。

具体的な流れについては、次のとおりである。

- ア 6～7名程度の班を構成し、班ごとに「府中市の現状と課題」をテーマとし、府中市の良いところまたは改善すべきところについて、意見を出し合い、付せんに記入し検討シートに貼り付けた。
- イ 共通性のある意見の付せんにグループとしてまとめ、「府中市の現状と課題」について参加者の認識の共有を図った。
- ウ 次に、「留保地に求められる機能」をテーマとして、「府中市の現状と課題」を分類したグループごとに、参加者が必要と考える具体的な機能について、意見を出し合った。

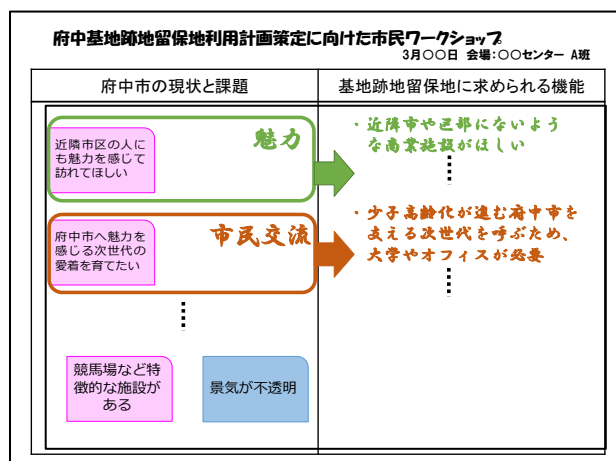


図2 当日の検討シート（イメージ）

(4) 参加者アンケート

市民ワークショップ終了後に、参加者に対してアンケートを実施した。アンケートの設問内容は、表2に示すとおりである。

表2 アンケート設問内容

アンケート設問内容
1. ワークショップを通じて「府中市の現状と課題」についての考えは深まりましたか？
2. 本日のワークショップを通じて、「留保地」への理解は深まりましたか？
3. ワークショップを通じて「留保地の将来」について考えは深まりましたか？
4. 今回のワークショップの全体を通しての感想はいかがでしたか？

資料 4 - 3

2 市民ワークショップの開催結果

(1) 開催状況

図3に、市民ワークショップの開催の様子を示す。両日とも、各班において活発な意見交換がなされた。

説明時の様子	
(17日)	(18日)
	
検討中の様子	
(17日)	(18日)
	
発表時の様子	
(17日)	(18日)
	

図3 市民ワークショップの様子

資料 4 - 3

(2) 【結果①】土地利用全体に係る意見

「府中市の現状及び課題」と「留保地に求められる機能」をテーマにした意見交換において、土地利用全体に係る意見も多数挙げられた。これらの意見を今後の利用計画の各検討段階で参考にできるように、表3に示すとおり分類して整理した。

表3 【結果①】土地利用全体に係る意見

分類	主な意見内容
土地利用の方針・方向性に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・世代間の交流ができる場や、全ての世代が利用できるものがほしい ・生涯育成に使用できるものがほしい ・子どもたちの歓声が聞きたい、子育てのしやすいまちにしたらよい ・心を育てるような場所をつくる ・府中市に人を呼びこむ（企業）誘致が必要 ・市の財政を使わず、民間を誘致する ・市の財政にも市民にとっても、メリットのある施設が望ましい ・既設のものリニューアル（増改築を含め）を考えるべき ・ハコモノになるような利用はできるだけ避けるべき ・維持費がかかるから建物は要らない ・お金のかからない（福祉）施設を誘致したらどうか ・アンケートや多数決ではなく、周辺のニーズを聞いてほしい ・ここにしかないものとして跡地を残す ・パラボラアンテナは、歴史遺産として残す
ゾーニングの方向性に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・マンションがない区域、低層区域 ・周辺への配慮が必要 ・地形を活かしたらどうか
整備方針に関する意見（交通・生態系等の留保地に関する整備方針）	<ul style="list-style-type: none"> ・交通アクセスをよくしてほしい ・周辺の道路を改善できるもの（東西及び南北のアクセス） ・周辺道路が狭いため、歩道・自転車道が必要 ・歩道を拡張・セットバックして欲しい ・留保地の動物への配慮や、虫への対策 ・防災機能を持たせる、発電機能 ・夜間一部完全閉鎖の施設が必要
整備推進方策に関する意見（マネジメント体制・スケジュールに関する意見）	<ul style="list-style-type: none"> ・ハードだけではなく、ソフトが重要である ・段階的な整備が必要 ・長期的な計画をもって、継続的に使えるようにする ・庁内の調整役がない

資料 4 - 3

(3) 【結果②】施設機能に係る意見

「留保地に求められる機能」をテーマとした意見交換における、施設機能に関する意見について分類して整理した。結果は表 4 に示すとおりである。

表 4 【結果②】施設機能に係る意見

提案された施設機能	主な意見内容
商業施設	・小規模の商業店舗
集客施設 (美術館・ミュージアム施設など)	・体験型の施設 ・基地跡地の歴史文化を発信する施設 ・温泉・温水プール ・キャンプ場
住宅	・高齢者向け住宅 ・ICT を利用した住宅 ・芸術家向け住宅 ・住宅は必要ない
研究施設	・農業研究施設
工場・物流拠点	・農業工場 ・産業団地＋研究施設（電子機器産業団地）
オフィス	・アニメスタジオ
宿泊施設	・長期滞在型、青少年のキャンプ地
公園・緑地	・現状を残した自然公園 ・緑を残す、スポーツができる広い公園 ・フラワーガーデン・子ども・高齢者が来やすい公園 ・高齢者向け・健康を意識した公園 ・歴史を感じられる公園 ・大人も楽しめる公園 ・農地（農業公園） ・ドッグラン
スポーツ施設	・体育館 ・スタジアム ・武道館 ・スポーツ広場 ・高齢者向けのスポーツ施設
福祉施設	・総合病院 ・ホスピス ・保育所と高齢者福祉施設の複合施設 ・保険外医療専門病院
文教施設	・小学校
その他施設機能	・樹木墓地、公園墓地※ ・葬儀場 ・ごみ焼却場※ ・将棋会館 ・集会所 ・民間活用でなく市民のための施設（マンションや住宅以外）

※ 墓地やごみ焼却場は、必要ないという意見も見られた。

資料 4 - 3

(4) (参考) 市民ワークショップにおける意見と市政世論調査との比較

市民ワークショップ以外の市民意見として、「平成 28 年度市政世論調査」の結果があり、市民ワークショップにおける意見との比較を図 4 に示す。

このグラフは、市政世論調査の結果を示したものであり、左側の施設機能に下線を引いた機能は、市民ワークショップにおいても意見のあった機能である。本図から、双方で概ね同様の意見が得られたことがわかる。

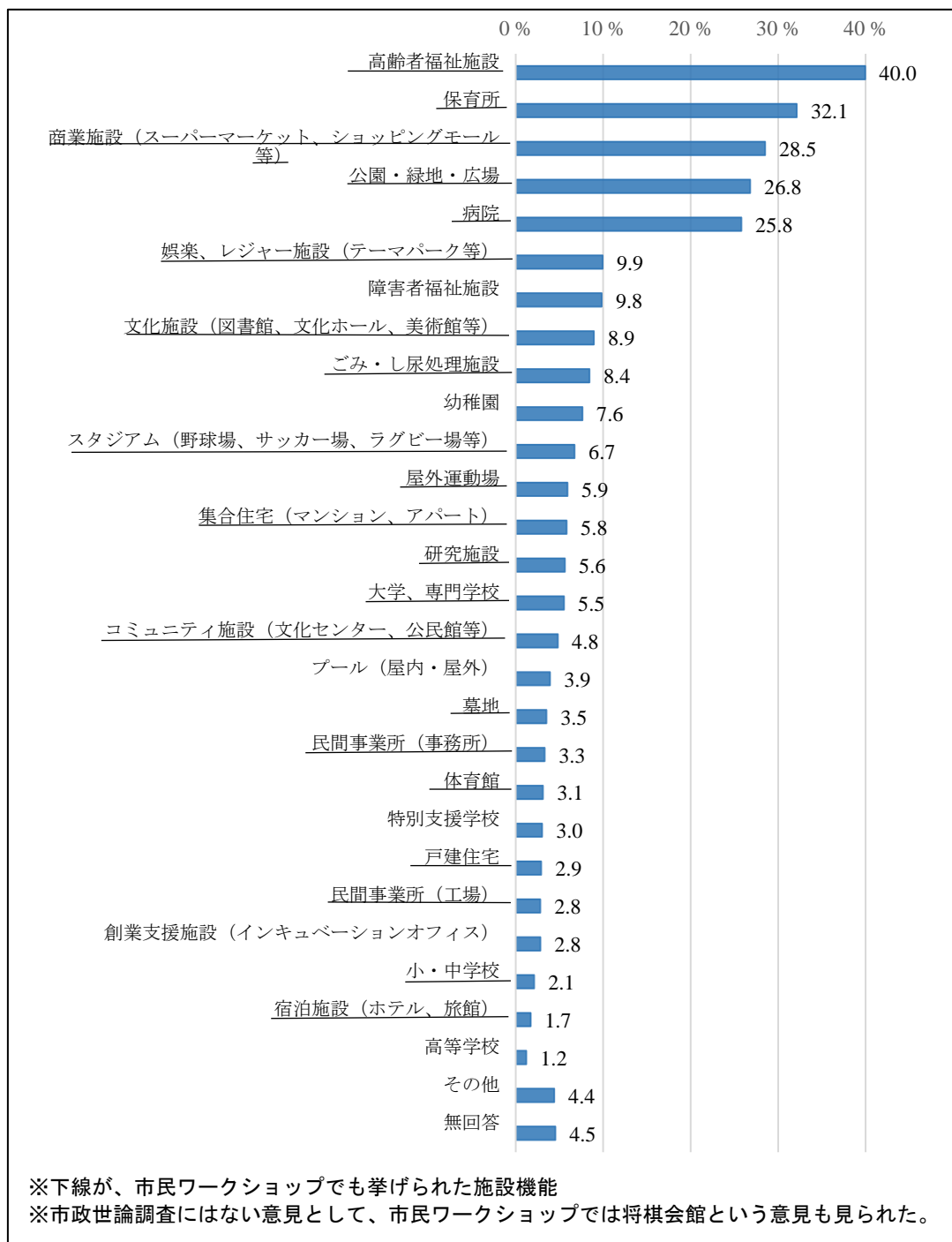


図 4 市民ワークショップの結果と市政世論調査 (平成 28 年度) の比較

資料 4－3

(5) アンケート結果

市民ワークショップの最後に、各会場において参加者に対するアンケートを行った。アンケート結果の概要は、次のとおりである。

なお、アンケートの各設問の集計結果については、次ページ以降に参考として示す。

アンケート結果の概要

- ・ 留保地への理解は、「深まった」や「やや理解が深まった」との回答が両日とも7割以上を占めており、市民の理解度が高まったことがわかる。
- ・ 「府中市の現状と課題」に対して、「今までよりも考えるようになった」や「考えるきっかけとなった」との回答が両日とも7割以上を占め、「府中市の現状と課題」への意識の高まりが見受けられる。
- ・ 留保地の将来について、「今までよりも考えるようになった」や「考えるきっかけとなった」との回答が7割以上を占め、「留保地の将来」に対する市民意識の高まりが見受けられる。
- ・ 全体を通しての感想では、両日とも「他の人の意見が聞けた」「自分の意見を言うことができた」との回答が多く、概ね、満足度の高いワークショップとなったといえる。

資料4-3

ア 「問1 本日のワークショップを通じて、「留保地」への理解は深まりましたか？」

全体では、「理解が深まった」が37%、「やや理解が深まった」が39%であり、ワークショップを行った意義はあったと考えられる。

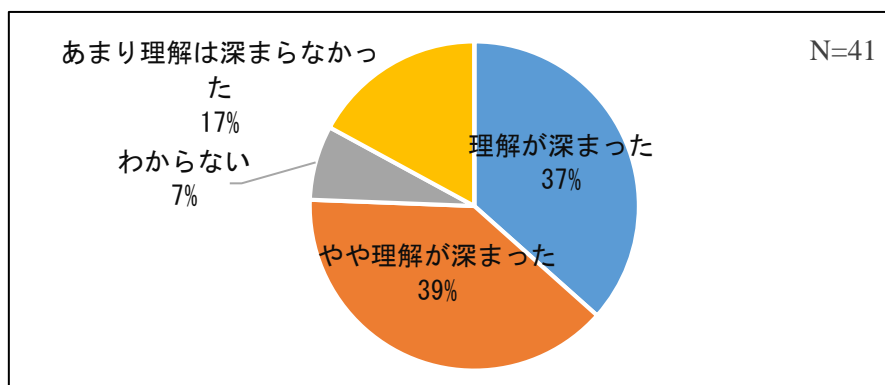


図5 ワークショップを通じた「留保地」への理解度

イ 「問2 ワークショップを通じて「府中市の現状と課題」についての考えは深まりましたか？」

全体では、「今までより考えるようになった」が34%、「考えるきっかけとなった」が37%であり、府中市に対する全体を考えるきっかけとして有効であったと考えられる。

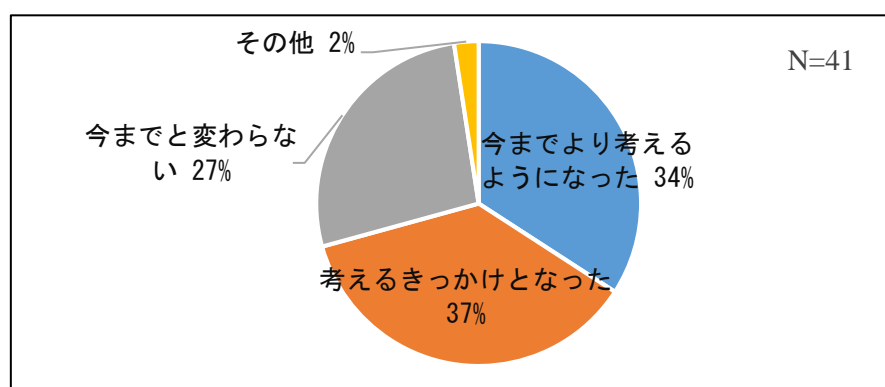


図6 ワークショップを通じた「府中市の現状と課題」への考え

資料4-3

ウ 「問3 ワークショップを通じて「留保地の将来」について考えは深まりましたか？」

全体では、「今までより考えるようになった」が54%、「考えるきっかけとなった」が34%であり、多くの参加者が留保地について関心を深める機会となったことがわかる。

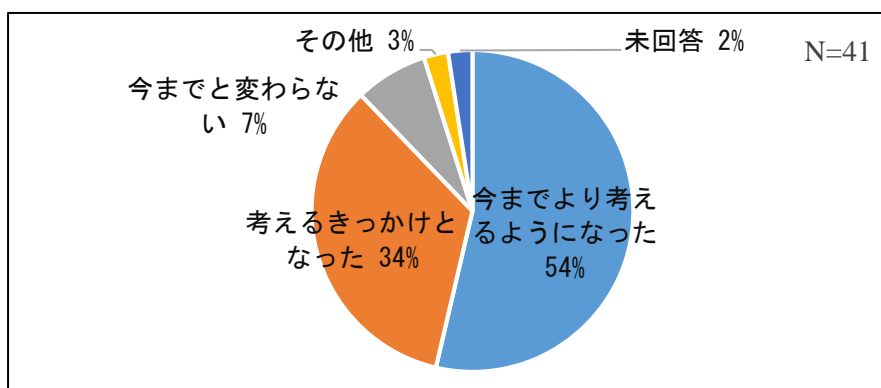


図7 ワークショップを通じた「留保地の将来」への考え

エ 「問4 今回のワークショップの全体を通しての感想はいかがでしたか？」

全体では、「他の人の意見が聞けた」が多く、全参加者の半数に当たる20票の回答があった。

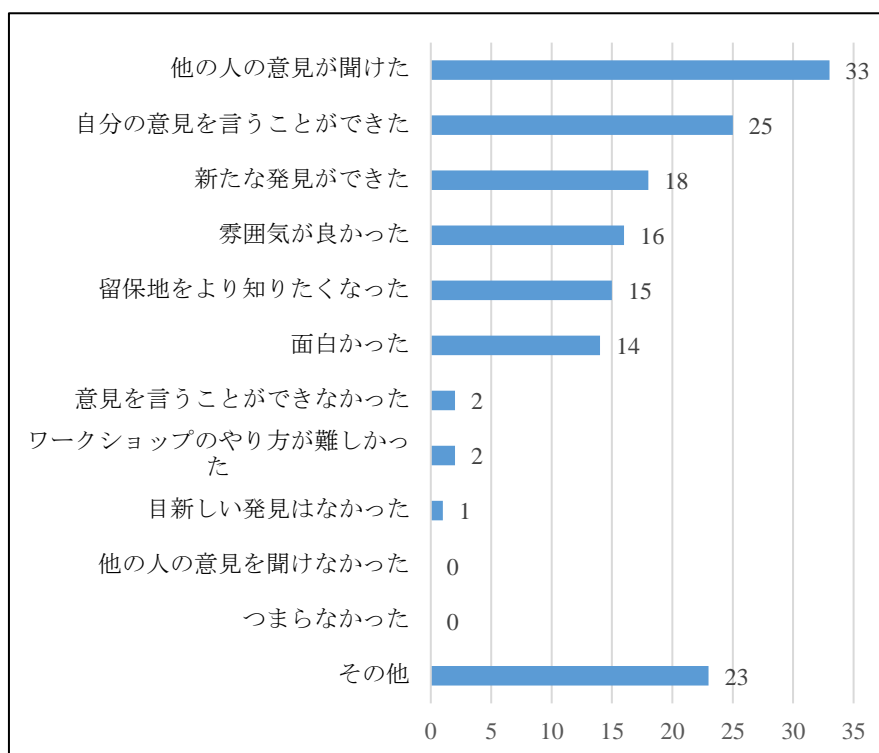


図8 ワークショップの感想

資料4-3

なお、図8のグラフにおいて、ワークショップの感想を「その他」とした方の23件の具体的な意見内容については、表5に示すとおりである。

表5 その他の内容

	その他の内容
1	現状の話をそのまま残すという意見が多く安心した。
2	市民の方の住んでいる地域〇〇※での状況がわかり、よかったと思う。
3	市民の声がアリバイづくりにつかわれないように。
4	参加者の世代が偏りがあるのではないか。もっと幅広い意見を取り入れつつ、跡地利用を考えていただきたい。特に積極的な開発をしないという結論があってもいいのではないか。
5	その後の協議会での協議内容を知りたいと思いました。
6	若い人の意見がききたい！
7	自然公園にするというのはほぼ一致した意見ではないか。
8	次回以降のワークショップの募集を今回以上となるよう集客に努めて下さい。
9	今後どうなるか興味が湧いてきました。
10	どういふものか関心を持ち初めての参加でした。具体的意見は出せずじまいでしたが勉強になりました。今日の結果がどう生かされるのか関心あります。ガスぬきにすぎない結果にならないことを願います。
11	参加できて本当によかった。次回があればまた参加したい。
12	有意義な時間を用意して頂きありがとうございます。若い世代の女性（子育てママ）の意見などこれからの世代の方がもっと参加できるとよいと思います。
13	府中市についての現状や課題が他の市民の方々と意見交換ができて、非常に良い機会でした。ありがとうございます。
14	府中市の担当者のコミットメントがもう少しほしかった。
15	友人達と今日の事を含めて、よく話し合いたいと思います。
16	シルバー世代が緑地の保全に協力できる。
17	1回切りのワークショップではなくて、継続的に話をして、結論が出せるような場にしてもらいたい。
18	KJ法をやるには時間が少なすぎる。「意見を聞きました」というエビデンスに使うだけということにならないようお願いしたい。
19	市民と役人がいっしょになって、ブレインストーミングをやったら、もっと発展すると思う。
20	関心のある方々の意見が交流できて貴重でした。度々機会ある毎にできたらひんぱんに行い多くの方の満足できる計画へと反映して下さい。
21	協議会への情報提供内容を知りたいです。
22	市民の意見が型になる様期待します。
23	参考になりました。ありがとうございます！

※ 自筆の記載において、読み取りが出来ない記載。